



5月7日 野々市小学校にて児童にマスクインナーを渡しました
※マスクインナーは市内各小中学校を通じて全児童生徒に配布します

ごあいさつ

令和2年5月8日

4月16日、政府は「緊急事態宣言」の対象地域を全国へと広げ、石川県は特定警戒都道府県として、特に感染防止対策に取り組む地域となりました。5月4日には、その「緊急事態宣言」が5月末まで延長され、引き続き私たちの生活はこれまでにない不安と、大きな影響にさらされています。

新緑が目まぶしい季節を迎えるゴールデンウィークも、不要不急の外出自粛など、人との接触を極力避けられ、市民の皆さんお一人おひとりがご理解いただき、行動されたことに深く感謝を申し上げます。

また、厳しい状況にありながらも、私たちの暮らしを守るためご尽力されている医療や福祉関係の皆さん、生活関連の事業者、従業員の皆さんにも改めて厚く御礼を申し上げます。

ここ数日間、本市における新たな感染者の報告はございませんが、決して気を緩めることができない状況にあります。市民の皆さんの命と健康を最優先に考え、市内小中学校の休業、そして、保育園・認定こども園の登園自粛も延長させていただくことになりました。各種公共施設の休館とともに、引き続き、ご不便と我慢を強いることとなりますが、重ねてご理解、ご協力をお願いいたします。

一律にお一人あたり10万円を給付する国の特別定額給付金につきましては、5月1日よりオンライン申請の受付を開始いたしました。また、郵送による申請の準備も進めており、5月11日には市内全世帯へ申請書の配布を行う予定となっております。迅速に手続きを行い、5月27日から、順次皆さんへの振込ができるように、しっかりと取り組んでまいります。

5月18日の臨時議会におきましては、新型コロナウイルス感染症対策の補正予算案を上程させていただきます。市民生活のさまざまな場面で影響が出ているなか、市独自の支援策も含めて取り組む内容を現在検討しております。

このような状況にあっても、企業や個人の方から本市に対し、マスクや消毒液などの衛生用品のご寄付を多数いただいております。思いやりにあふれる善意に心が温まる思いです。いただいた品は、本市医師会を通じて、医療現場に届くように手配するなど、十分に活用いたします。お気持ちを寄せていただき、ご寄付された皆様に心より御礼申し上げます。

私たちはこれまでに経験したことのない不自由や、生活の不便さを感じています。今まで過ごしてきた日常生活で当たり前だったことが、できないことを実感しています。先の見えないことで、もどかしくなり、どうしてもストレスを抱えてしまいます。このような時こそ冷静さが必要です。この期間にこれまでできなかったことに挑戦してみることも一つです。我慢の中に楽しみややりがい、没頭できることを見つかることができれば、自然と気持ちにも余裕も生まれてくると思います。

必ずやどこかに出口があり、終息への扉が開くものと信じております。